

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：2025年3月31日

事業所名 エジソンキッズ青森西

		チェック項目	はい	いいえ	課題・工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0		
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		児童の特徴や職員の適正を見て、必要に応じて職員配置の見直しを図っていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、必要に応じて手すりが設置されていたり、情報伝達等への適切な配慮がなされているか	4	1	手すりはあるがバリアフリーではない	現時点でバリアフリー化でないことによる困難さは無いが、今後必要性が高まった際には整備・設置の検討していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5	第三者委員会を立ち上げられていない	適正な施設運営のために、評価者の選定や機関の設置を進めていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	月一回以上社内研修を実施している他、外部研修にも参加している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	モニタリングや相談支援を通して保護者から話を聴き分析して計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツール（シートなど）を使用しているか	5	0	独自のアセスメントシートを使い、子どもの状況や発達の程度を記録している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	季節やイベントに関するプログラムを取り入れている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	1		関係機関との連携業務を行ったことのない職員もいるため、適性を見た上で業務担当職員の均一化を図っていく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	5	該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	5	該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	送迎時に主に行っているため情報共有が十分でない所がある	担当者会議やケース会議の機会をより多く設けていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		連携対応している職員としていない職員間での情報共有をより密に行うほか、適性を見た上で連携対応職員が固定化されないようにする
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2		基本的に利用児童には保育園や幼稚園等と並行通園してもらっているが、今後それとは別に交流の機会創出を図れるよう検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	2	わからない	参加している職員と参加していない職員間での情報共有をより密に行うほか、参加職員が固定化されないようにする
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	3		支援対応している職員としていない職員間での情報共有をより密に行うほか、適性を見た上で支援対応職員が固定化されないようにする
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		相談対応している職員としていない職員間での情報共有をより密に行うほか、適性を見た上で相談対応職員が固定化されないようにする
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	5		親子イベント等を通して保護者同士の交流機会を設けているが、今後要望があれば父母の会の設置・開催を検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0		

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	4		行事予定は定期発行しているが会報の発行は不定期であるため、連絡する事項やその重要度を鑑みて発行頻度を増やすことを検討していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5		行事の内容や参加の必要性をよく吟味して、状況に応じて地域住民が参加することを前提とした行事の企画・立案をしたり、その実施を地域に広く呼び掛けていく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1		訓練に参加できていない職員もいるため、児童の出席だけでなくシフトも考慮して訓練を実施していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1		訓練に参加できていない職員もいるため、児童の出席だけでなくシフトも考慮して訓練を実施していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3		保護者からの聞き取りによるアレルギー対応であるため、今後必要に応じて医師からの指示・指導を仰ぐことも検討していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		後日情報共有しているものの研修に参加できていない職員もいるため、シフトも考慮して研修を開催したり、同一の内容の研修を複数回実施することも検討していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0		